

心房細動に対するクライオアブレーション(冷凍焼灼術)を開始します。

◇心房細動に対するクライオアブレーション(冷凍焼灼術)

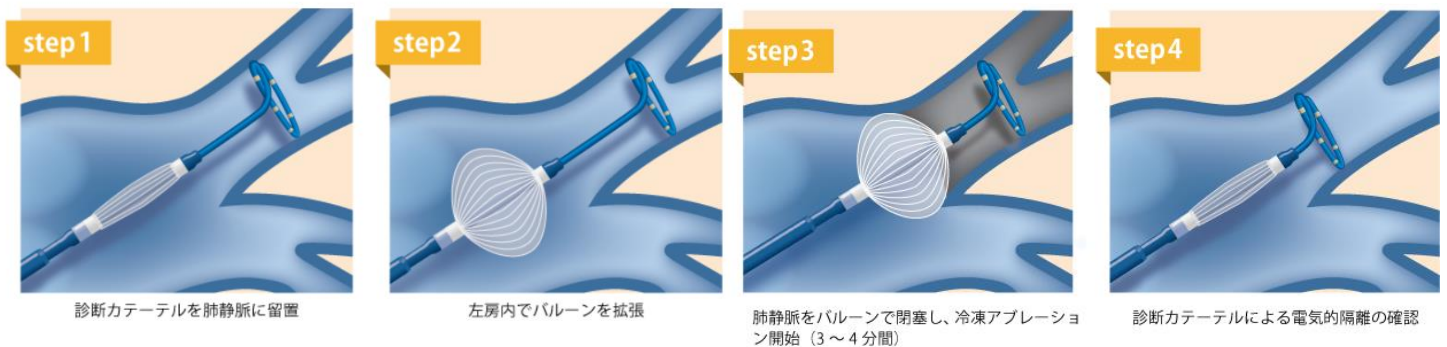
従来の高周波焼灼術は、カテーテルで点状に焼灼して左心房と肺静脈の電氣的つながりを遮断していました。それに対し、冷凍焼灼術は亜酸化窒素ガスを使用し、バルーン形状のカテーテルを肺静脈入口部に当てて円周状に焼灼し電氣的つながりを遮断できます。点ではなく、円周状に焼灼できるので手技時間の短縮が期待されます。

また、高周波焼灼に比べて、治療中の血栓形成リスクが低いことや、コラーゲンなど結合組織の温存などの利点も報告されています。

このバルーンでは変性した左心房への治療ができないため、冷凍焼灼の適応は原則として発作性心房細動のみです。持続性心房細動の場合は高周波カテーテル心筋焼灼が行われます。



◇クライオアブレーション(冷凍焼灼術)の手技



カテーテル操作は、X線透視下で確認しながら進めていきます。治療中は、痛みを軽減する目的と治療の安全性を高めるために、鎮静剤をしながら行います。

◇不整脈外来のご案内

高齢化社会を迎え、心房細動は増加傾向の疾患です。心房細動が原因となる脳梗塞の発症を予防するためにも、発作性の時期に心房細動を治療することは重要であり、この治療の有用性は極めて高い治療であると考えております。

その他の頻脈性不整脈・徐脈性不整脈に対しても専門的な診療を行っております。

火曜午後・水曜午前で不整脈外来 第三土曜日午前でアブレーション外来を行っております。担当医 横江